会　議　録　要　旨

会議名		令和８年度　第３回藤沢市下水道運営審議会	
開催日時		2026年（令和８年）９月１０日（木）午前9時56分～午前11時13分	
開催場所		本庁舎５－１、５－２会議室	傍聴者数 ０人
出席者	会 長	杉渕 武	
	委 員	稲田　圭祐　　井上　美鈴　　関口　洋史　　吉井　昭寿　　仲　倫子 後藤　厚　　和田　洋	
	事務局	張ケ谷道路下水道部担当部長 [下水道計画業務課]三橋主幹　山口主幹　倉田補佐　椎葉補佐　横田補佐　吉原補佐 井上上級主査　梅田上級主査　針山主査　伊勢﨑主査　後藤 中島　森　竹内 [下水道管路課] 阪井参事　坪井主幹　川勝補佐　三澤補佐 [下水道施設課] 佐藤参事　竹内辻堂浄化センター長　鷲塚大清水浄化センター長 田中補佐　滝沢補佐　伊澤補佐　日向補佐	
議題及び公開・非公開の別		１　藤沢市合流式下水道緊急改善事業の事後評価について（公開） ２　「下水道の日」作品コンクール応募作品の審査、優秀作品の選考について（非公開） ３　「下水道の日」街頭キャンペーンについて（公開） その他　（公開）	
非公開の理由		議題２については、藤沢市情報公開条例第６条第１号に規定する個人に関する情報を含むため。	
審議等の概要		《議題》 １　藤沢市合流式下水道緊急改善事業の事後評価について （資料１に沿って説明） 【質疑】 （１）合流式下水道で内水氾濫がおきた場合、下水が市街地で逆流し、住宅に入り込むのではないかと危惧していますが、その可能性は排除されているのでしょうか、それともそういった問題が発生しているのでしょうか。 《回答》 藤沢市内でも内水氾濫がおきてしまうところがありますので、浸水対策と合流改善対策の性質を併せ持った雨水の貯留管を整備し、一時的に雨水を貯留すると同時に河川への放流を防ぐ対策をとっております。 （２）市内に貯留管は何か所あるのでしょうか。 《回答》 資料１の地図の３か所の他、別の箇所に２か所あり、合計５か所設置しています。 【意見】 （３）初めて聞く方は合流式は南部処理区だけという前提を知らないので、南部処理区以外がどうなっているのかが分かりません。今後市民の皆さんに報告をされる際には、合流式は南部だけで、これで対策は完了したということを、分かりやすく説明をしていただきたい。	

審議等の概要	（４）小さい油の粒であるオイルボールを網目の大きいスクリーンの網で除去できるものなのでしょうか。 《回答》 きょう雑物の除去は基本的に機械式スクリーンで、ごみが出る前に、それをどんどん先の処理場の方に流すというシステムになっております。網で捕まえるというよりも、ごみを処理場に流して河川や海に出さないという対策をとっています。 （５）藤沢市が経験した最大雨量というのはどの程度でしょうか。また、例えば時間雨量が100ミリを超えた場合、藤沢市の下水道はうまく対応できるのでしょうか。 《回答》 藤沢市の過去最大は平成２６年１０月の台風時の、御所見地区での時間当たり７７ミリです。下水道の整備水準は通常、時間当たり５０ミリとなりますので、それを超える雨が降ったことになります。今後、重点対策地区では最近の気候変動を踏まえて時間当たり６６ミリまで対応できるように対策していきたいと考えています。 （６）資料の５ページに浸透施設の記載がありますが、浸透施設は計画にどのように見込まれていますか。浸透能力は時系列的に下がると思うのですが、どのような見方をされていますか。 《回答》 下水道管へ流入する雨水量を低減させるため、湘南Ｃ－Ｘ区域の浸透施設を計画に位置づけております。また、地下式ピットの貯留施設を経由することから、放流量をモデルに組み込み、シミュレーションにて評価しております。経年変化について適切に維持管理を行います。 （７）モニタリング調査について、時間最大降雨量が２．５ミリということで、これは雨水ポンプも稼働しないくらいの水量と認識しています。どのようなシミュレーションをしているのか教えてください。 《回答》 辻堂浄化センターでの流入下水と水量、水質、代表的な吐口で越流しているかとその水質を測定しました。この雨では越流はしていませんでしたが、その降雨を基に２００２年当時の同程度の雨の時にシミュレーション上だとどれくらい越流をしているかなどを確認し、対策効果を確認しています。 （８）実際に越流しない雨で、また１降雨だけということで、国の審査を行う上で問題ないのでしょうか。 《回答》 マニュアル上では複数回のモニタリングが望ましいとしていますが、昨年度は降雨が少なく、また、雨が降ったとしても３０ミリ以上の降雨であったりと、モニタリング調査自体できませんでした。委員がご指摘のとおり、２回が望ましいのですが１回でも効果を確認できたとして今回の事後評価に採用しています。 （９）評価項目に「今後の方針」がありますが、それが示されていないように思えますが、いかがでしょうか。 《回答》 今回緊急改善事業として実施したことの他に、今後、その合流式下水道をどのようにしていくかということを記載したいと考えております。 （１０）事後評価の確認書についてはどのような形で調整するのでしょうか。 《回答》 会長と協議の上、案文を作成して委員の皆様へお諮りした後、最終版として提出させていただきたいと思います。 《議題》 ２　「下水道の日」作品コンクール応募作品の審査、優秀作品の選考について 審議会委員により作品審査を行い、ポスター５作品、書道５作品を優秀作品に決定した。

審議等の概要	《議題》 ３　「下水道の日」街頭キャンペーンについて ９月１０日の下水道の日に合わせ、JR藤沢駅南口ペデストリアンデッキ及び南北自由通路において、啓発物品を配布しながら下水道施設の適正利用を呼び掛ける「街頭キャンペーン」を行うことを説明。 会議終了後、JR藤沢駅へ移動し下水道運営審議会委員及び 下水道PR実行委員による街頭キャンペーンを実施した。
その他	